

大阪市天保山客船ターミナル整備等PFI事業 提案の概要



五洋建設グループ

代表企業 五洋建設株式会社

構成企業 株式会社松田平田設計

日本管財株式会社

基本コンセプト

天保山の「新たな名所」となる集客交流拠点づくり

クルーズ客船の
母港化

にぎわい創出と
集客力強化

天保山エリアの
環境魅力向上

使いやすい、
ひとにやさしい施設をつくる

- スムーズな入出国手続きを可能とするスペースの確保
- 明解な一方向動線 / 迅速な荷物動線
- 高齢者、歩行困難な乗客への配慮
- 船客・船員へのおもてなしスペース

築港エリアの
にぎわいを創出する

- 日本文化や地域情報を積極的に発信
- 地域との協働による地域の活性化
- 仮設店舗として利用できるエントランスホール
- にぎわい創出イベントへの対応

大阪港の玄関口に
ふさわしい顔をつくる

- 街並みと調和する景観特性に沿ったデザイン
- 大阪の歴史、文化が感じられるデザイン
- 風格が感じられ、伸びやかで洗練された端正なデザイン

にぎわいあふれる
世界水準の客船ターミナルへ！



ターミナルの主要な機能（下船時動線イメージ）

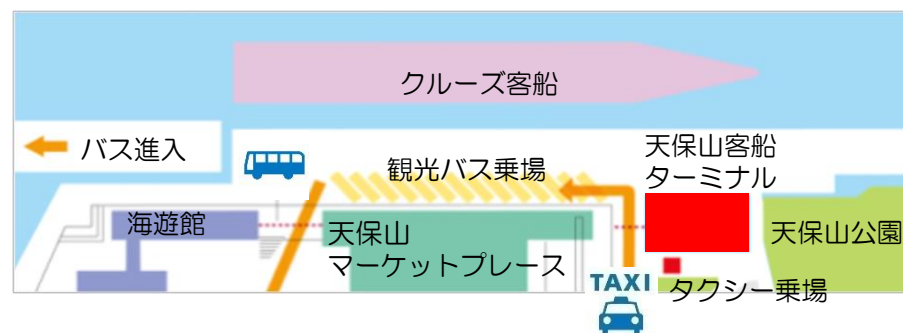
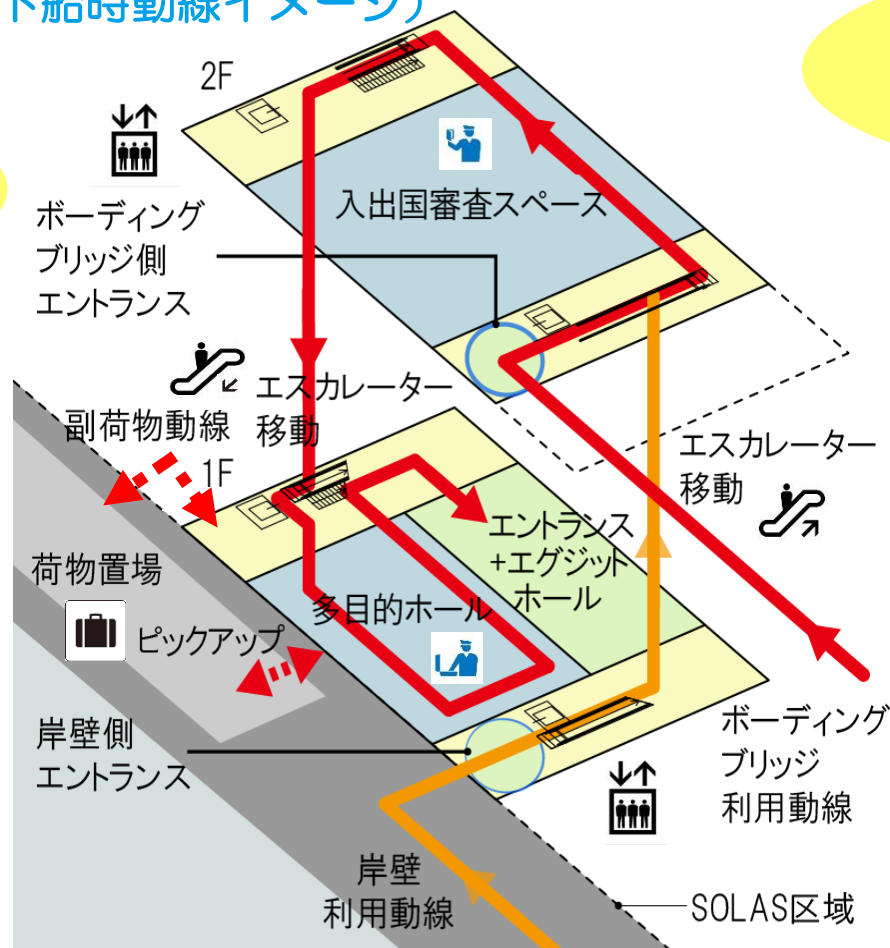
観光インフォメーションや
両替サービスなどに利用できる
エントランス



無料Wi-Fiも完備



クルーズ客船の非寄港時は
地域と連携したイベント利用も



あらゆる旅客動線に対応した施設計画
明快な一方向動線でスムーズな動線計画



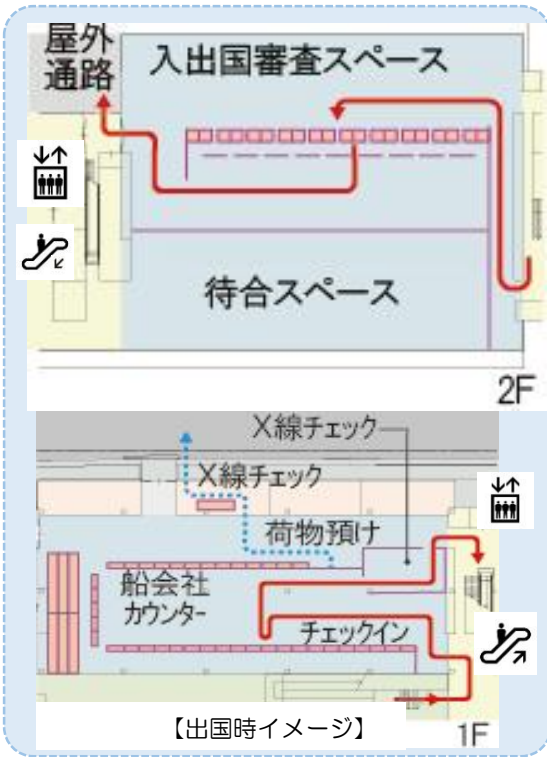
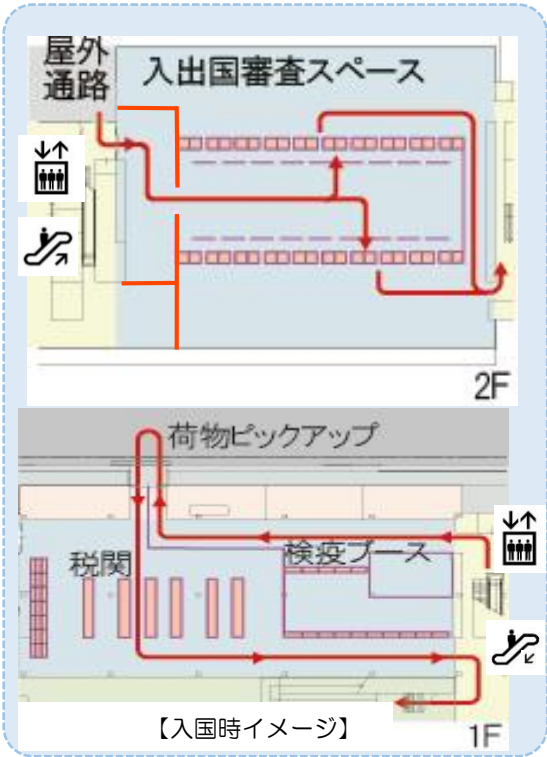
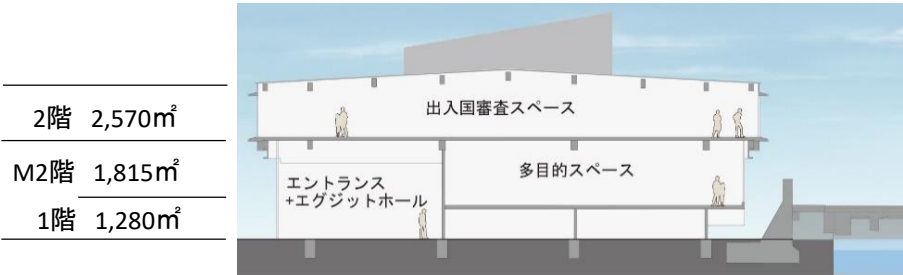
上下階の移動にエスカレーター・
エレベーターを利用した迅速な移動手段



観光バスやタクシー乗場への
動線に配慮した陸上交通接続

迅速に手続きできるC I Q（入出国審査）動線

- 多様なクルーズ客船に対応した迅速なCIQ審査が可能
- 最大41ブースのフレキシブルな配置が可能な2階の入出国審査スペース
- 出国時と入国時でレイアウトを変更できるM2階の多目的ホール
- 審査前後の待合いや観光案内等のインフォメーションスペースを1階に配置
- 将来の22万総トン級のクルーズ客船にも対応できる施設計画

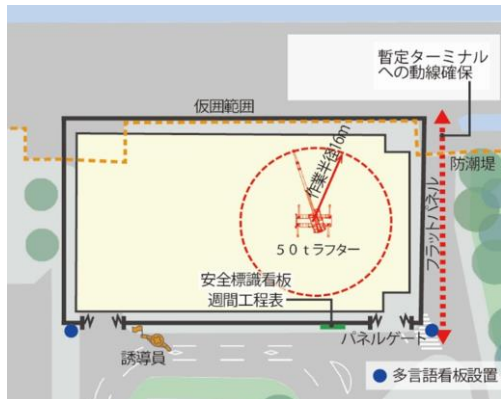


利用形態	ターンアラウンド 利用	ファーストポート 利用
必要手続き	入出国	入国
入出国者数（想定）	4,100人	4,900人
入出国ブース 1台の処理速度	70人／時	120人／時
入出国ブース数	最大41ブース	最大41ブース
CIQ処理時間	90分	60分
エスカレーター 輸送能力（幅 1m） （速度 30m/min）	9,000人／時	9,000人／時
船会社カウンター	15～20ブース	サービスカウンター等



施工期間中のクルーズ客船利用者や観光客への配慮

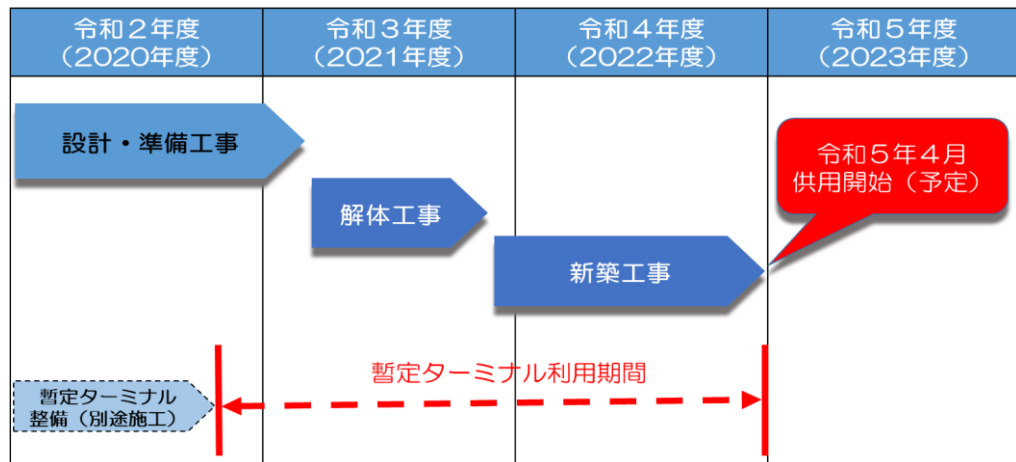
- 施工期間中のクルーズ客船利用者に配慮し、暫定ターミナルへの動線を確保
- 敷地の周囲に仮囲いを設置し、観光客動線と工事エリアを明確に分離
- 「多言語による安全標識看板」を見えやすい位置に設置



【工事期間中の動線】



【多言語注意喚起看板イメージ】



【施工期間（暫定ターミナル利用期間）】

安全・快適、丈夫で使いやすい施設を実現する管理

- 保守データと診断結果を長期修繕計画へ反映し、予防保全に利用
- 施設利用に伴うエネルギー使用傾向を分析し、維持管理に利用することで環境負荷を低減し、省資源・省エネ化
- 法令を遵守し、適切な頻度で点検・清掃等を実施して、利用者の安全・安心と快適な環境を提供
- ターミナル運用に影響を与えない、稼働に合わせた管理

実行性のある緊急時計画

- 維持管理企業と協力企業が連携した速やかな初動対応
- 東西に本部機能を有する維持管理企業の災害時相互補完



【維持管理企業 災害時補完機能】

早期発見・早期治療による施設の長寿命化

- 具体的な修繕計画提案による官民負担区分の明確化
- 巡回点検時の記録、診断データの蓄積・分析
- 修繕の優先順位の設定による履行判断を迅速・効率化

効果的かつ効率的な報告・評価の方策

- ICT技術の導入による効率向上と評価労力の軽減
- 多角的な視点での評価計画
- わかりやすく、誰もが同様に評価できる計画
- 確実に容易に評価できる計画